

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

2012 年 10 月 31 日

派遣者氏名（専門分野）	池 田 光 子	（中国哲学）
-------------	---------	--------

派遣期間	2012 年 7 月 29 日	～	2012 年 9 月 26 日
------	-----------------	---	-----------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
台湾	台北市	台湾大学図書館（5階善本書区・珍藏室等）

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法を記入）

台湾大学図書館（5階）

【住所】10617 台北市羅斯福路四段一號

【HP】<http://www.lib.ntu.edu.tw/>

【交通手段】捷運（MRT）公館駅 2 号または 3 号出口より徒歩。

【利用方法】荷物（袋）は、館内に持ち込めないため、地下のコインロッカー（10 元、返却式）に預ける。地下への入り口は、図書館内部に入り、左手側にある階段から向かうことが可能。パスポートを手元に準備し、1 階へと戻る。内部に入るには、出入口手前（斜め手前に 2 台）にある PC にて、エントリーをする必要がある。パスポート番号や氏名等を記入し（英語入力可）、出入口へと向かう。出入口には係員がおり、パスポートを渡す。係員はエントリー情報とパスポートとを対照し、問題が無ければ入館証が渡される。それをを用いて出入口のバーを開き中へ。

5 階の部屋に入る際には、右手にある受付で入館証を渡す。それと引き替えに、5 階用の入館証を受け取る。

閲覧を希望する資料は、受付台にある閲覧申請書に、資料名や資料番号のほか、氏名や所属、閲覧の目的等を記す。その場での記入でも良いが、複数の資料を閲覧したい時には、予め申請書を作成しておくのが良い。なお、閲覧申請書は、HP から DL が可能（「首頁」→「服務項目」→各式申請表單）。

資料名などが明確である場合には、HP の所蔵検索を利用するのが容易であるが、書名が曖昧である場合などには、『臺灣大學圖書館藏珍本東亞文獻目錄—日本漢籍篇』（東亜文明研究書目叢刊 2，張宝三主編，国立台湾大学出版中心，2008 年 7 月）や『國立台灣大學圖書館增訂善本書目』（国立台湾大学図書館書目叢刊第 1 種，国立台湾大学図書館編輯，国立台湾大学図書館，2011 年 6 月）、『國立台灣大學圖書館典藏日文善本解題圖錄』（台湾大学典藏図録 2，松原孝俊主編，国立台湾大学出版社，2009 年 12 月）等、紙媒体で出版されている多数の目録類が有るため、閲覧を希望する資料を事前にピックアップすることは比較的容易である。なお、書籍としてではなく、ネット上に一部の目録データが公開されている場合もある（例：日台交流センターHP（http://www.koryu.or.jp/center/ez3_contents.nsf/Top）→台湾関係データベース）。

資料の多くはマイクロフィルム化、もしくは画像データ化されている。デジタル化されていない資料のみ、実物を見ることが可能。なお、実物の写真撮影は不可。マイクロフィルムについては、複写が 5 頁分のみ可能。